

①在校時の地震・災害対応について

大規模災害（震度 6 弱以上）発生するとき

生徒は学校で保護

（帰宅の場合原則、保護者に直接引き渡し）

在
校
時
対
応

◎ 学校から保護者への情報伝達

1 本校ホームページにより安否情報を確認する。

（ <https://www.metro.ed.jp/kodairanishi-h/> ）



2 学習支援クラウドサービス Classi により安否情報を確認する。

（<https://id.classi.jp/login>） +Classi ID+Password

※スマートフォンでアプリを入れておくことを推奨します

※御家庭の PC が利用可能な場合でも、保護者様の ID と Password 管理は御注意願います。

3 NTT 災害時伝言ダイヤル「171」を利用し、学校からの伝言内容を確認する。

伝言ダイヤル

（1）「171」プッシュ

（2）「2」をプッシュ

（3）「042-345-1411」をプッシュ

※30秒程度の学校からの伝言が流れます。伝言一件につき保存時間は48時間です。

※災害には風・大雪・大雨、不審者、テロ、NBCR 災害を含みます

◎ 生徒の安全確保について

（1）生徒避難誘導

（2）人員確認

（3）負傷者救出

（4）校舎等点検

広域避難場所：小平市中央公園等

生徒在校中の発災場面での生徒、保護者、学校の情報連絡体制を整備し、毎年度当初、生徒・保護者及び教職員に周知徹底する。（改善が必要な場合は、更新を随時行う）

②登下校時の地震・災害対応について

大規模災害（震度6弱以上）発生するとき



1 公共交通機関の関係者、警察、消防、自治体職員の指示に従って行動



生徒（以下の中から選択）

基準：①距離の近さ ②周囲の安全 ③治安

- （１）自宅に帰る
- （２）近くの学校へ避難
- （３）一時滞在施設又は最寄の避難所に避難



【教職員】

- （１）出勤途中の時は学校へ向かう
- （２）帰宅途中の時は学校へ戻る

登
下
校
時
対
応

2 本校ホームページから情報を得る

(<https://www.metro.ed.jp/kodairanishi-h/>)



3 学校へ安否連絡を入れる

- （１）学習支援クラウドサービス Classi を活用する

(<https://id.classi.jp/login>) +ClassiID+Password

- （２）Teams のチャット機能を活用する

- （３）学校端末にメールする【S1000184@section.metro.tokyo.jp】

4 学校から保護者への情報伝達（在校時対応と同様）

※災害には風・大雪・大雨、不審者、テロ、NBCR 災害を含みます

登下校時の発災場面に応じた、生徒、保護者、学校との情報連絡体制を整備し、毎年度当初、生徒・保護者及び教職員に周知徹底する。（改善が必要な場合は、更新を随時行う）

③校外学習時の地震・災害対応について

★ 震度5強以下の災害への対応

*** 大規模災害（震度6弱以上）の場合は、在校時対応又は登下校時対応を参照**

（※災害には風・大雪・大雨、不審者、テロ、NBCR 災害を含みます）

- 大前提
- 1 職務遂行と生徒の生命の安全を確保
 - 2 学校との連絡は本校の組織端末又は副校長 TAIMS 端末に電子メールで連絡
 - 3 災害時伝言ダイヤルによる安否確認情報を各自設定
 - 4 生徒を掌握できる場合には避難所へ引率
 - 5 本震のあと余震が続くので、安全が確保できるまで避難所で待機
 - 6 帰宅させる場合には、保護者の同意を得て帰宅させる（大規模災害の場合は原則、保護者に直接引き渡し）帰宅後は学校組織端末に電子メールで又は、学習支援クラウドサービス Classi で帰宅したことを連絡

1 自宅（学校）と現地の間の移動時（大規模災害の場合は原則、学校へ移動）

- （1）自宅（学校）に戻れる場合は、自宅（学校）に戻る
- （2）自宅（学校）に戻れない場合には、公共交通機関や警察の指示に従うとともに最寄の都立学校又は指定避難所へ避難
- （3）学校組織端末又は副校長 TAIMS 端末宛てに安否情報を電子メールで連絡
- （4）生徒を掌握できる場合には避難所へ引率

2 校外学習中

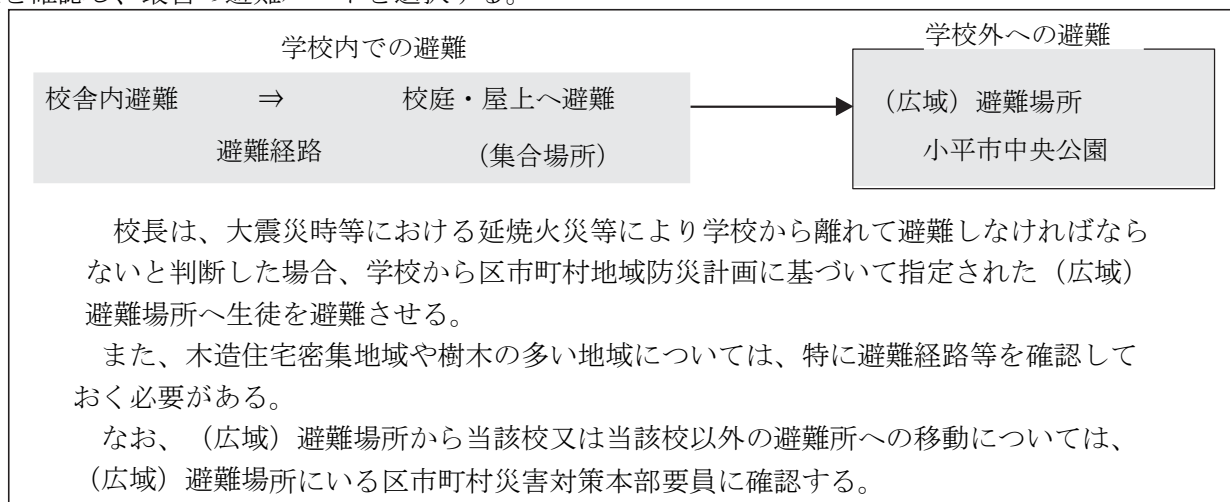
- （1）生徒の安否を確認し、現地施設の指示に従う
- （2）現地に留まることができない場合、最寄の都立学校又は指定避難場所に引率
- （3）状況を把握し、学校組織端末又は副校長 TAIMS 端末宛てに安否情報を電子メールで連絡
- （4）安全が確保できるまで現地（避難所）で待機
- （5）生徒を帰宅させる場合は、保護者の同意を得て帰宅させる
（大規模災害の場合は原則、保護者に直接引き渡し）

本校の学校組織端末メールアドレス S1000184@section.metro.tokyo.jp

副校長個人端末 TAIMS メールアドレス Miho_Ootashiro@member.metro.tokyo.jp

生徒の避難誘導

生徒の避難誘導に当たっては、教職員は、生徒の生命及び安全確保を第一とする。その際、周囲の状況を確認し、最善の避難ルートを選択する。



生徒の保護体制

【原則】

大規模震災が起こり、学校所在地域の震度が小さい場合でも、公共交通機関の運行状況や都内外の被災状況等の把握に努め、**保護者が企業等に留め置かれた場合には生徒を確実に保護者に引き渡すまで、災害発生時から3日間程度、学校において、生徒を保護することを原則とする。**

【状況把握及び連絡手段】

- ①都立小平西高等学校ホームページ <https://www.metro.ed.jp/kodairanishi-h/>
- ②学習支援クラウドサービス Classi <https://id.classi.jp/login> +ClassiID+Password
- ③NTT 災害時伝言ダイヤル
- (1)「171」をプッシュ
- (2)「2」をプッシュ
- (3)「042-345-1411」をプッシュ

※30秒程度の学校からの伝言が流れます。伝言一件につき保存時間は48時間です。

- ④本校の学校組織端末メールアドレス S1000184@section.metro.tokyo.jp

【生徒を学校内で保護する場合】（※校長の指示に従い、教職員がその任に当たる）

- ① 生徒の安全を確保するため、避難住民や帰宅困難者等とスペースを分離する。
- ② 混乱を避けるために動線を切り分ける。
- ③ 個々の保護者との連絡に当たっては、連絡手段（1 ホームページ、2 学習支援クラウドサービス Classi、3 災害時伝言ダイヤル、4 本校学校組織端末 S1000184@section.metro.tokyo.jp に加え、携帯電話や固定電話などを適時に活用する）

【登下校中の生徒の安全確認と誘導】

生徒は、自宅に帰宅するか、近くの学校又は一時滞在施設又は避難所へ避難する。

教職員が生徒の安否情報、公共交通機関の運行状況等の情報収集に当たる。自宅や本校に帰ることが困難と判断した場合は、携帯電話等で学校に避難先を連絡する。